

平成二十三年 度 当初予算の概要

一般会計 八千八百七十八億円

平成二十三年 度 予算が可決致

しましたので概要をご報告いたします。府税収入の落ち込みが激しく、厳しい財政状況の中、人件費の削減や政策の見直しを行い、府債発行を前年よりも抑えて、やり繰りした予算となりました。

京都市包括ケアの推進

医療・介護・福祉のサービスの一体化をはかり、高齢者が安心して暮らせる社会を実現。特別養護老人ホームや小規模介護施設等の基盤整備・ケア人材の確保や育成・リハビリ

テーションの充実等。

公共再生プロジェクト

地域力の再生支援推進として、NPO等と地域が協働できるような仕組みづくり。地域と行政が協働して公共空間を活用できるよう支援。地域活動を財政的に支援。

中小企業百億円事業

経営の専門家を充実し、中小企業三万社を訪問し、経営支援を行う。研究開発や技術開発を積極的に支援、金融支援の充実や人

材確保を支援。

京都の強みを活かした京都ブランド戦略の推進。

府民安心の再構築

私立高校の修学支援を年収五百万円未満世帯まで拡充して無償化。

京都市少人数教育を中学まで拡充し三十人程度学級を実現。犯罪のない京都を目指す治安対策として、少年非行対策や街頭犯罪撲滅対策。

地域共生の実現

子育て支援の充実として、未入園児保育事業の充実。障害者や妊婦の方が優先的に利用できる駐車スペースを公

地域での高齢者見守り活動の強化や買い物サポート事業。

京都力の発揮

国民文化祭の開催や文化交流事業の充実。

地球温暖化対策の充実として、電気自動車の普及や森林整備。産業界のエコ化推進。京都農業の強化として、農産物のブランド力強化や経営の強化や輸出できる農業を実現。

雇用対策の充実

高卒・大卒等の未就職者支援。ジョブパークの活用で就業支援、福祉・環境分野で五千人の雇用を創出。

